

アジアにおける植物優良品種の開発・保護・利用の促進事業

【令和6年度予算概算決定額 50（51）百万円】

〈対策のポイント〉

持続可能な農業・食料システムに必要な優良品種の導入を進め、我が国の種苗産業の海外展開に必要な環境整備のため、アジア各国の「植物新品種保護国際同盟」(UPOV)加盟を促進するとともに、世界蔬菜センター(WorldVeg)が行う野菜新品種の導入等を支援します。

〈事業目標〉

- 今後10年間でアセアン加盟国10か国の過半がUPOVに加盟〔令和10年度まで〕
- アジア諸国に新品種を15系統以上提供〔令和10年度まで〕

＜事業の内容＞

1 国際調和した植物品種保護制度の整備支援

植物新品種保護国際同盟(UPOV)がアジア諸国の加盟促進と品種保護制度の整備に向け行う以下の取組を支援します。

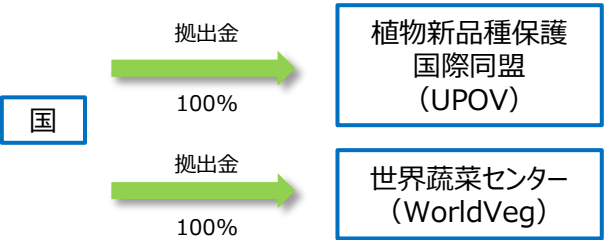
- ①新品種の開発と普及促進におけるUPOV制度の役割と便益の周知・啓発
- ②UPOV条約に即した法整備支援
- ③地域内連携による複数国同時出願や審査協力の取組推進

2 官民連携による野菜新品種の活用・導入支援

世界蔬菜センター(WorldVeg)が各国研究機関と連携して行う以下の取組を支援します。

- ①官民連携による高品質な種子生産技術の向上
- ②政府や農業者等の利害関係者と一体的に行う新品種及び栽培技術の実証
- ③UPOVと連携したワークショップ開催等の啓発活動

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

アジア諸国の課題



事業内容

UPOVとWorldVegの効果的な連携により、アジア諸国における品種保護制度の整備を加速化

国際調和した植物品種保護制度の整備支援

アジア諸国のUPOV加盟に向けた取組を促進

- ・UPOV制度の理解向上
- ・法制度・実施体制の整備
- ・審査手続の調和・負担軽減

【UPOVの目的】

植物新品種を各国が共通の原則に従って保護することにより、優れた品種の開発・流通を促すことで、農業の発展に寄与する。

官民連携による野菜新品種の活用・導入支援

収量・収益性の高い優良品種の導入を支援

- ・品種導入と栽培技術実証
- ・投資促進と品種保護についてのステークホルダーへの啓発



- ・種苗会社等の投資促進
- ・優良品種へのアクセス増大

宮崎アクション
(G7農業大臣会合2023)

強じんて持続可能な農業・食料システムを実現



【お問い合わせ先】 輸出・国際局新興地域グループ (03-3502-5913)
輸出・国際局知的財産課 (03-6738-6444)